

正誤表 中期目標の達成状況報告書

琉球大学

	頁数・行数等	誤	正
1	9 頁・26 行	実施することよ <u>つ</u> て	実施することによ <u>っ</u> て
2	9 頁・28 行	目指すことした	目指すことと <u>し</u> た
3	9 頁・44 行	URGCC 学習・ <u>教</u> 育目標	URGCC 学習教育目標
4	9 頁・45 行	URGCC 学習・ <u>教</u> 育目標	URGCC 学習教育目標
5	10 頁・3 行	URGCC 学習・ <u>教</u> 育目標	URGCC 学習教育目標
6	11 頁・1 行	目標を達 <u>せ</u> する	目標を達 <u>成</u> する
7	12 頁・資料 1-1-1-2-④	7 つの URGCC 学習目標	7 つの URGCC 学習 <u>教</u> 育目標
8	12 頁・資料 1-1-1-2-④	<u>協</u> 調性	<u>社</u> 会性
9	13 頁・資料 1-1-1-2-⑤	【農学部】4 の士教育プログラム	【農学部】4 の <u>学</u> 士教育プログラム
10	13 頁・資料 1-1-1-2-⑥	出典：URGCC 琉球大学学士プログラム	出典：URGCC 琉球大学 <u>学</u> 士教育プログラム
11	13 頁・資料 1-1-1-2-⑦	出典：URGCC 琉球大学学士プログラム	出典：URGCC 琉球大学 <u>学</u> 士教育プログラム

	頁数・行数等	誤	正
12	14 頁・資料 1-1-1-2-⑧	URGCC 学習・教育目標	URGCC 学習教育目標
13	18 頁・7 行	(URGCC 目標の 1 つ)	(URGCC <u>学習教育</u> 目標の 1 つ)
14	18 頁・11 行	「シラバスの <u>作成要領</u> ・点検・質の管理」	「シラバスの点検・質の管理」
15	18 頁・26 行	学習成果の設定	学修成果の設定
16	22 頁・29 行	大学委員会	大学院委員会
17	35 頁・資料 1-1-2-3-③	(対 <u>担当</u> 合格者数割合)	(対 <u>短答</u> 合格者数割合)
18	36 頁・資料 1-1-2-3-③	法学未修者 <u>も</u> にが受験した法科大学院	法学未修者が受験した法科大学院
19	37 頁・7 行	<u>各</u> 年度合格者	<u>各</u> 年度合格者
20	44 頁・資料 1-2-1-1-⑥	I. 平成 23 年 6 月～ <u>±</u> 9 月に行う活動 について	I. 平成 23 年 6 月～9 月に行う活動に ついて
21	46 頁・40 行	牽引することした	牽引すること <u>と</u> した
22	62 頁・27 行	2. 学士教育プログラム委員会	2. <u>全学</u> 学士教育プログラム委員会
23	63 頁・34 行	全教員に配布した	全 <u>指導</u> 教員に配布した
24	63 頁・39 行	全教員に配布している	全 <u>指導</u> 教員に配布している

	頁数・行数等	誤	正
25	70 頁・38 行	県内及び国内に就職した	県内及び国内 <u>外</u> に就職した
26	76 頁・資料 1-3-1-3-⑧	支援額は 140 万円（20 万円×2 名、 25 万円× <u>2</u> 名（新入生））	支援額は 140 万円（20 万円×2 名、 25 万円× <u>4</u> 名（新入生））
27	77 頁・12 行	実施状況が良好である <u>と</u> 、と判断する	実施状況が良好である、と判断する
28	78 頁・13 行	保健センター	保健 <u>管理</u> センター
29	92 頁・7 行	<u>機構</u>	<u>超域</u>
30	93 頁・4 行	成立維持機構	成立・ <u>維持</u> 機構
31	95 頁・31 行	<u>文科省</u> 特別経費	<u>文部科学省</u> 特別経費
32	95 頁・32 行	運営交付金	運営 <u>費</u> 交付金
33	95 頁・42 行	<u>文科省</u> 概算要求特別経費事業	<u>文部科学省</u> 概算要求特別経費事業
34	95 頁・44 行	運営交付金	運営 <u>費</u> 交付金
35	100 頁・3 行	<u>文科省</u> 概算要求特別経費事業	<u>文部科学省</u> 概算要求特別経費事業
36	104 頁・12 行	運営交付金特別経費	運営 <u>費</u> 交付金特別経費
37	126 頁・46 行	西原 <u>長</u>	西原 <u>町</u>

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

琉球大学法務研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	5-2 頁・30 行	3. <u>措</u> 定する関係者とその期待	3. <u>想</u> 定する関係者とその期待
2	5-10 頁・ 資料 1-1-16	考えた <u>が</u> 甲が	考えた甲が
3	5-16 頁・ 資料 1-2-5	調査する能 <u>勿</u>	調査する能 <u>力</u>

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

琉球大学理学部

	頁数・行数等	誤	正
1	8-7 頁・6 行	(別添資料 8-①)	(別添資料 8-②)
2	8-17 頁・ 資料 1-2-6	TA 採用数 (左から) 69(12) 91(13) 87(9) 85(9) 80(9) 68(5)	TA 採用数 (左から) 79(12) 81(14) 87(11) 75(9) 81(9) 75(5)
3	8-41 頁・9 行	平均回答率 <u>80.6%</u>	平均回答率 <u>80%</u>
4	8-42 頁・ 資料 2-2-1	平成 <u>24</u> 年 1 月 9 日	平成 <u>25</u> 年 1 月 9 日
5	8-46 頁・5 行	(別添資料 8-①)	(別添資料 8-②)
6	8-46 頁・33 行	平均回答率 <u>80.6%</u>	平均回答率 <u>80%</u>
7	8-46 頁・33 行	<u>卒業生</u> アンケート	<u>平成 22～26 年度卒業生に対する</u> アンケート

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

琉球大学理工学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	9-6 頁・資料 1-1-3	別添資料 9-①	別添資料 9-②
2	9-6 頁・資料 1-1-4	別添資料 9-②	別添資料 9-③
3	9-9 頁・資料 1-2-1	<u>理学系</u> では毎年度	毎年度
4	9-16 頁・ 資料 1-2-12	22 年度 前期課程（工学系） <u>144</u> （5） 23 年度 前期課程（工学系） <u>1</u> （4） 25 年度 前期課程（理学系）60（ <u>0</u> ）	22 年度 前期課程（工学系） <u>140</u> （5） 23 年度 前期課程（工学系） <u>134</u> （4） 25 年度 前期課程（理学系）60（ <u>2</u> ）
5	9-22 頁・15 行	別添資料 9-③	別添資料 9-④
6	9-22 頁・資料 2-1-4 （各表の左から 2 番目の年度）	<u>24</u> 年度	<u>23</u> 年度
7	9-24 頁・資料 2-1-6	別添資料 9-③	別添資料 9-④
8	9-33 頁・資料 2-2-7	出典の未記載	<u>（出典：指導教員に聴取して作成）</u>
9	9-36 頁・14 行	（資料 1-1-3～4、P9-6）	（資料 1-1-3～4、P9-6、 <u>別添資料 9-②、③</u> ）
10	9-36 頁・35 行	別添資料 9-③	別添資料 9-④

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

琉球大学医学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	11-9 頁・5 行	平成 <u>24</u> 年度	平成 <u>23</u> 年度

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

琉球大学保健学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	12-3 頁・16 行	平成 <u>27</u> 年度	平成 <u>26</u> 年度
2	12-20 頁・24 行	平成 <u>27</u> 年度	平成 <u>26</u> 年度



正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

琉球大学理学部

	頁数・行数等	誤	正
1	5-4 頁・資料 1-1	平成 22 年月	平成 22 年 <u>8</u> 月
2	5-7 頁・資料 1-4	出典 理学事務 作成資料	出典 理学部事務 作成資料

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

琉球大学理工学研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	6-8 頁・資料 1-8	<u>無前</u> 通信分野で	<u>無線</u> 通信分野で
2	6-10 頁・30 行	研究成 18 件	研究成 <u>果</u> 18 件

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

琉球大学法務研究科

	頁数・行数等	誤	正
1	11-5 頁・3 行	教育活動に <u>重視</u> しており	教育活動に <u>充当</u> しており
2	11-6 頁・13 行	教育方法を <u>改善</u> すること	教育方法に <u>改善</u> すること